

活動報告

10月25日 男女平等EXPO高岡2015

ひろげよう!! ワーク・ライフ・バランス ~笑顔をもたらす私らしい働き方と生活~

講師 ▶ 春風亭 鹿の子さん(落語家)

本年度の「男女平等 EXPO」のテーマは、「ワーク・ライフ・バランス」。最近、よく耳にするこの言葉を、落語家さんの巧妙な話術と落語で講演して頂きました。

落語家という我々の生活リズムとは異なる世界に身を置きながら、子育てや生活の調和を保つ為に、家族の協力があって乗り越えることが出来た事を、笑いを交えながらお話しして下さいました。

また、ストレスを少しでも軽くするために、自ら考案した「顔面体操」といった独自の健康方法のやり方などを紹介され、会場では笑いが起こる、楽しい講演会となりました。

(指崎 一匡)



1月23日 定例会 親子料理教室

講師 ▶ 高岡市農業センター栄養士 佐野 晴美さん

心配された雪の影響がなかった今年度の親子クッキング教室は、推進員とその家族合計 18 名の参加がありました。

今回のメニューは、大根ステーキ ON チーズ、ごはんの春巻き、ショートケーキ風ホットケーキ、さつまいもと人参のポタージュと盛りだくさんの内容でした。

最初は、恐る恐る野菜の皮をむいたりしていた子供たちだったのですが、一つの工程が終わると目を輝かせながら、自ら率先して次の作業を聞いて取り組んでいました。

みんなが協力して完成した料理は、きっと今まで食べた中で、一番おいしい料理だったのではないのでしょうか。

(指崎 一匡)



2月13日 射水・氷見・高岡合同研修会

第一部 寸劇「定年間近の会話」「休日の午後のひととき」

第二部 講演「今、私たちにできること」

講師 ▶ 射水市地域振興会連合会 会長 宮城 澄男 氏

毎年開催される、射水・氷見・高岡合同の研修会で、今年は射水市での開催でした。はじめに県からの、女性の就業環境をめぐる状況の説明の後、射水市推進員有志による寸劇が上演されました。家庭内での男女参画の必要性を、富山弁を使い、面白おかしく表現されていました。

続いて「今、私たちにできること」と題して、宮城 澄男さんが講演されました。2025 年以降に訪れる「後期高齢化社会」に向けて、地域に暮らす私たちと行政が、どのような「町づくり」を行わなければならないのかを、実在する市町村での取り組みを交えながら講演して頂きました。

(指崎 一匡)



編集後記

私が男女共同参画推進員、そして広報部員を引き受けて 2 年。何もわからないまま過ぎたように思いますが、講演会などで見たり・聞いたりした事が今後の生活に少しでも役立てばいいなと思えました。

広報発行にご協力いただいた皆様！ありがとうございました。

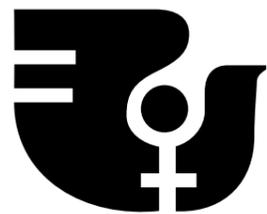
(富岡 ルミ)

広報部員

- 副会長 指崎 一匡
- 部長 松本 光司
- 谷内 英哉
- 富岡 ルミ



家持くん 利長くん



平等・開発・平和

ともだち共立

第20号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

推進員を経験して

高岡市男女共同参画推進員 高岡連絡会 副会長 生原 正樹



私は推進員を2期4年させていただき、間もなく任期僅かとなります。この任期中に沢山の推進員の方々と知り合いとなり、男女共同参画推進に向け共に活動ができとても有意義な経験をさせていただきました。正直、成り立ての頃は趣旨を良く理解しないまま定例会へ出席しておりましたが、講演会やワークショップを通じて徐々に理解を深め学んでいくことができました。今思えば、2年に1度のミニ地区懇談会開催やイベント等参加で広く啓蒙活動をすることで、多くの気づきと学びに繋がったと感じます。

今現在、日本の社会には地域や職場・学校・家庭における様々なジェンダー(社会的性別)問題が潜んでいます。また、夫婦間に至っては深刻なDVで悩んでいる方も大勢いらっしゃいます。実際、私は一昨年DV被害に遭っている方と偶然お話しする機会がありました。ご本人は、ほぼ毎日パートナーによる執拗な精神的暴力を受けているということで、かなり困窮されている感じでした。また、その方は身体的暴力とストレスで片方の耳が聞こえなくなり、こちらの問いかけにも聞き取りにくい状態でしたので、私はすぐに最寄りDV相談窓口のリーフレットを手渡し紹介してみました。しかし、ご本人は意外にもDV被害者という認識よりも、逆に優しいはずのパートナーがいつも怒るのは自分に原因があるという捉え方で、加害者パートナーを庇われ、その場ですぐに納得を得ることはできませんでした。以前、DVの講演で被害者は、加害者からの暴力と暴力後に見せる優しさで徐々に判断力が鈍り次第に無気力となる。よって、自信が無くなった被害者自身がこの恐怖のループから逃れる第一歩は、なかなか踏み出せるものではないと聞きました。改めて、DV被害の現実を知ると被害者救済には、第三者が根気よく本人の自立サポートができる男女平等推進センター等の支援団体が不可欠だと感じています。

男女平等の社会は基本です。この住み良い日本を更に高めていくには、男女共同参画の輪を広め、男女がもっと尊重しあえる社会になることが日本の未来に望まれます。微力ながら、私は推進員で学んだことを踏まえ、今後は社会に生かしていきたいと思えます。

悩んでいることは ひとりで悩まないでご相談ください

DV(配偶者や交際相手からの暴力) 家庭や職場のトラブルや悩み事など 高岡市男女平等推進センター相談室 TEL 0766-20-1811



主なデータ	平成26年度の相談件数: 2,701件(延件数)
	主な主訴: ①DV 1,435件(53.1%) ②生き方 377件(14.0%)
	③精神保健 376件(13.9%)
年齢別	①40代 1,216件(45.0%) ②30代 626件(23.2%)

相談時間 9:30~16:30 月・火・水・金・土 14:00~20:00 木

【電話相談】【面接相談】(面接相談は予約が必要です。) ※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。(相談業務は毎週日曜日と祝日がお休みです。)

高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階) ●高岡駅前

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行っています。

電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。

ミニ地区懇談会

11月24日：定塚校区・平米校区

講演会「娘の夢を追いかけて～家族で取り組むワークライフバランス～」

講師 ▶ 登坂 修 さん (2016 リオデジャネイロ五輪出場内定 登坂絵莉選手の父)

世界で活躍する娘、絵莉選手。自身もレスリングで国体の優勝経験があり、コーチ・父としての思いを話して頂きました。絵莉選手が競技を始めたのは小学校3年生の時。

兄と一緒に高岡ジュニアレスリングクラブに「すぐに辞めるだろう」という軽い気持ちで通い始めましたが、マット運動が楽しいという理由から競技を続け、小学校5年・6年で全国優勝。文集には「意識の差が結果の差目標あって結果あり」と、父が日頃から娘に教えていた言葉でした。とにかく負けず嫌いで勝つ事しか頭にない。

そんな娘の笑顔をみるために家族みんなで協力して支え、結果が悪くても叱ったりせず、親の都合を押し付けない。娘を信じ、応援する親の気持ちがよくわかりました。(富岡 ルミ)



11月27日：成美校区・万葉校区・能町校区

講演会「ひとりひとりを大切にされた地域づくり」

講師 ▶ 高岡市社会福祉協議会会長 尾崎 憲子さん

昨年春から1年半ほど、男女共同参画推進員として活動してきましたが、これまでは定例会等に参加して話を聞くといった受動的な活動が多かったように思います。

ただ今回は自分の校下の活動ということもあって、企画・立案・運営に関わったことで、実際に男女平等について考えるいい機会となりました。

「家庭や職場、地域における男女共同参画のQ&A」といった身近なテーマだったこともあり、自分に置き換えて、じっくり考えることができました。これまでも自分なりの男女平等を意識していたつもりでしたが、その考えも独りよがりな部分もあったのでは、と反省する点もありました。

まずは夫婦・家族といった小さな単位で、お互いの向き・不向きを考慮して、何ができるのか話し合うことからこれからの男女平等参画を始めていきたいと思っています。(大場 恒治)



11月27日：伏木校区

講演会「人をつなぐ・地域をつなぐ -こどもも高齢者も障がいのある人もともにここで生きていく-」

講師 ▶ 社団法人Ponteとやま 水野カオルさん、加藤 愛理子さん

共生とは一体何なのか。どうすれば障がいのある人や高齢者、子どもなど様々な立場の人たちが安心して暮らせるのか。これが正解、と明確に答えが出せるものではないですが、一つの答えの形として、生きづらさを抱えている人たちの居場所の提供や支援を行うPonteとやまの取り組みがあるのではないのでしょうか。

住み慣れた地域で安心して暮らすため、私たちの地域でも何かできることがあるのでは、と考える機会になったのではないかと思います。

ふしき女性の会「鈴」のメンバーの方、伏木小学校教育委員会役員の方をはじめとして、近隣の方や講演の内容を知り興味を持っていらした方など、約45名の方が参加されました。皆さん大変興味深く講師の先生方のお話を耳を傾けていました。(臼谷 美紀)



12月22日：横田校区・西条校区・川原校区

講演会「男女平等・共同参画ってなに？」

講師 ▶ 国吉光徳保育園園長、光徳寺住職 安居 登さん(元 富山県男女共同参画推進員)

男女共同参画のイメージを安居氏の体験や資料を基に、ユーモアを交えてお話をしてくださいました。

男性とは？女性とは？という、性別への固定概念にとらわれず、「私とは？」と考え、自分のできることを見つけて実行に移すことこそが、男女平等・共同参画について考える第一歩になるのではないかと、教えていただきました。

まずは家庭から、そして地域や社会へとその考えが広がっていけば世の中が少しずつ良くなっていくのではないかと思います。

PTAや地域の多くの皆様に参加して頂き、地区懇談会を無事終えることができたことをこの場を借りて感謝いたします。(長田 正美)



2月4日：太田校区

講演会「DV 予防啓発講座「エッ、これもDV…～皆で気づき、大切な人を守ろう～」」

講師 ▶ 高岡市男女平等推進センター 蒲田 政裕 所長

あいにくの雨模様でしたが、多くの方にご参加頂き、DVとは何か、どのような種類のDVがあるのかを、富山弁を用いたわかりやすい説明でご説明頂きました。

テレビや雑誌では良く目にするDVですが、市の相談件数や内容など現状の説明を受け、実はごく身近な問題なのだと考えさせられました。

またDVは大人だけの問題ではなく、子供に対しても影響があり、DVの影響力の強さに、参加者の方たちも驚きを隠せないようでした。

今まで他人事のように感じていたDVについて、改めて加害者にも被害者にもならないためにどうすべきかを考えさせられる時間となりました。(指崎 一匡)



2月21日：野村校区

講演会「緩和ケアから援助的社會へ」

講師 ▶ 真生会富山病院 緩和ケア認定看護師 長久 栄子さん

病院の緩和ケアチームの専従看護師さんに講師をお願いし、緩和ケアからこどものいじめ問題と広くお話し頂きました。

緩和ケアは、がんをはじめとする痛みを伴う病だけではなく、スピリチュアルペイン(自己の存在と意味の消滅から生じる苦痛-自分に価値が無いなど)を和らげQOLを改善するアプローチのことで、死んでいく人の為だけではなくそうです。様々な患者さんに寄り添い援助的コミュニケーションによって支えてこられた講師の言葉には重みがあり、ケアされたがん患者さんのお話は感慨深いものがありました。

また、参加者に合わせて子どものいじめ問題についても言及され、子供の話をどう受け取りコミュニケーション図るかということも参加者は聞き入っていました。(高木 法子)



民間支援基金パサパは皆様の支えで成り立っています!



DV被害者が、自立の一歩を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサパは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。

(会費・寄付振込先)

ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号 0057876

口座名 サポート基金パサパ

問合せ先: 080-6358-0838

パサパって?

フランス語で、「一歩一歩」という意味です。



この広報紙は高岡市のホームページからもご覧いただけます。

ほっとホット高岡 > 暮らし > 男女平等・共同参画 > 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html>

